

報道関係各位 御中

展覧会『天と地』企画運営
一般社団法人災害防止研究所
吉田明生 名取 禎

平素は大変お世話になっております。

10 月 5 日（土）に開催される「書家 柏木白光作品展『天と地』 熊野古道をめぐる書巡礼」のオープニングテープカットセレモニーのご案内をさせていただきます。ご取材のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【セレモニー概要】

タイトル：紀伊山地の霊場と参詣道・世界遺産登録 20 周年記念展覧会
書家 柏木白光作品展『天と地』 熊野古道をめぐる書巡礼
オープニングテープカットセレモニー

期日：2024（令和 6）年 10 月 5 日（土）9:00～

会場：世界遺産 熊野本宮館 メインステージ

〒647-1731 和歌山県田辺市本宮町本宮 100-1 TEL 0735-42-0751

テープカットに先立ち、正大先達・高木亮英大導師 ならびに 那智山青岸渡寺 熊野修験山伏による開闢（かいびやく）法要を行います。

【テープカットセレモニーご列席者の方々】

真砂充敏様（田辺市長）
九鬼家隆様（熊野本宮大社宮司）
男成洋三様（熊野那智大社宮司）
高木亮英様（那智山青岸渡寺住職）
山本殖生様（国際熊野学会代表委員）
名 淵 敬様（熊野本宮観光協会会長）
柏木白光

【取材のご連絡】

テープカットセレモニー取材ご希望の方は、前日までに下記へご連絡いただければ幸いです。

展覧会『天と地』企画運営 一般社団法人災害防止研究所 吉田 info@saibouken.or.jp

なお、当日の報道関係の受付は 8:30 からとさせていただきます。

以上

【取材依頼】

世界遺産登録 20 周年記念し、熊野古道をテーマとした 書家・柏木白光の展覧会が熊野本宮館で 10 月 5 日から開催

【開催趣旨】

2024（令和 6）年は「紀伊山地の霊場と参詣道」がユネスコ世界遺産に登録されて 20 周年を迎える記念すべき年です。熊野本宮観光協会では、記念展覧会として 10 月 5 日（土）から 20 日（日）、「書家 柏木白光作品展『天と地』 熊野古道をめぐる書巡礼」を開催します。会場は、熊野本宮大社にほど近い「世界遺産 熊野本宮館」（和歌山県田辺市本宮町）です。

書家・柏木白光は、国内外の聖地に赴き書作品を制作し、精力的に展覧会を開催してきました。2009 年からは熊野古道をテーマとした作品制作を開始。熊野へと通じる参詣の路を歩み、人々の祈りの場である紀伊半島の聖地を訪れ、作品制作を続けてきました。十数年の歳月をかけ、神社仏閣をはじめ 87 ヶ所の聖地において制作を続けてきた「墨アート」作品の集大成が『天と地』です。本展覧会では、会場となる熊野本宮館の展示スペースに代表作約 100 点を展示します。

【開催概要】

タイトル：紀伊山地の霊場と参詣道・世界遺産登録 20 周年記念展覧会

書家 柏木白光作品展『天と地』 熊野古道をめぐる書巡礼

主催：熊野本宮観光協会（<https://www.hongu.jp>）

企画運営：一般社団法人 災害防止研究所（<https://www.saibouken.or.jp>）

後援：和歌山県、田辺市、国際熊野学会、読売新聞社

会期：2024（令和 6）年 10 月 5 日（土）～10 月 20 日（日）※会期中無休

開場：午前 9 時～午後 5 時（最終日は午後 2 時まで）

会場：世界遺産 熊野本宮館（<https://www.city.tanabe.lg.jp/hongukan/>）

〒647-1731 和歌山県田辺市本宮町本宮 100-1 TEL 0735-42-0751

柏木白光ウェブサイト <https://byakko.info>

【オープニングテープカットセレモニー】

期日：2024（令和 6）年 10 月 5 日（土）9:00～

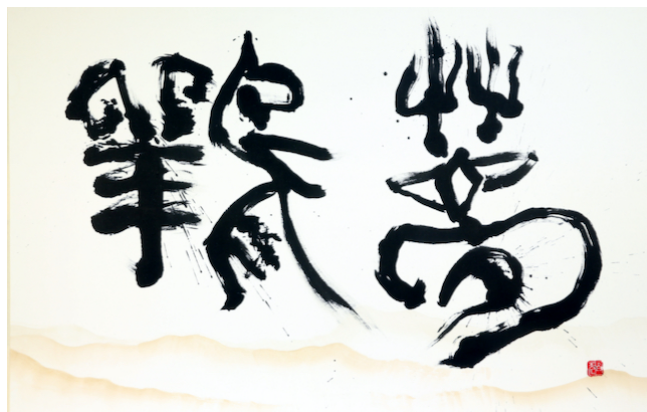
会場：世界遺産 熊野本宮館 メインステージ

【本件に関する報道関係の方の問い合わせ先】

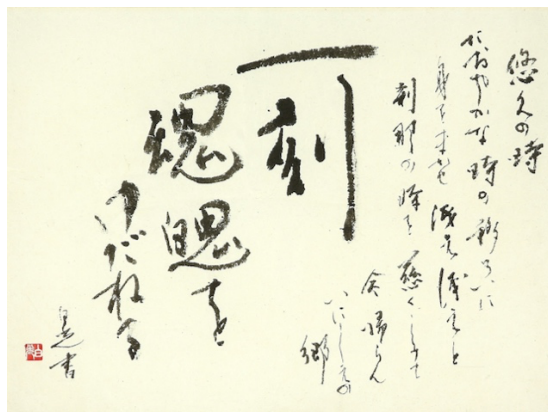
展覧会『天と地』企画運営 一般社団法人災害防止研究所 吉田 info@saibouken.or.jp

（本リリースに掲載の画像も提供可能です。メールにてお問い合わせください）

【代表的な展示作品】



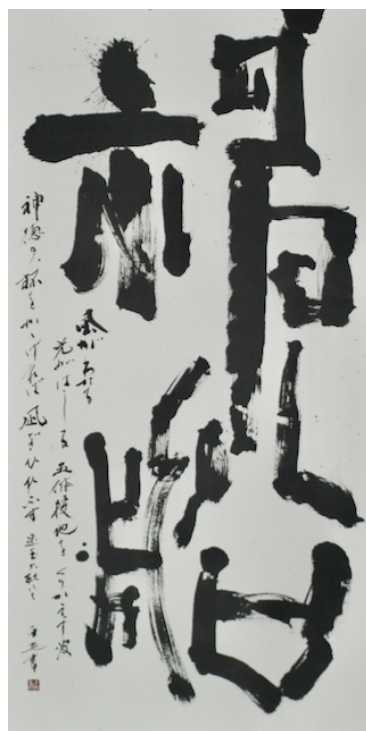
熊野本宮大社「翔夢」



熊野本宮大社「光」



熊野那智大社 那智大瀧



熊野速玉大社



那智山青岸渡寺

【『天と地』 熊野古道をめぐる書巡礼】

2023年に書業50周年を迎えた柏木白光は、書家であった初代・辛島寅次郎、2代・宇都宮廣の跡を継ぎ、5歳から書の道を歩み始めました。伝統的な書の美しさを表現する技法を習得した後も、文字の起源を探求。自身のテーマを表現する「墨アート」作品の制作では、伝統的な書の美しさと、独自の色彩感覚や絵画的な要素を融合してきました。

柏木白光が作品のモチーフとして導かれてきたのは国内外の聖なる地です。旅をして現地を訪れ、聖地のエネルギーを全身で感じ、墨アート作品へと昇華してきました。2009年から取り組み始めたのは世界遺産である巡礼の道「熊野古道」です。柏木白光は熊野古道の歴史を調べ、由来のある神社や寺院の理解を得て作品を制作してきました。2022年11月にすべての作品が完成するまでに十数年の歳月を要し、その制作地は国内8府県と韓国の87カ所に及びました。

2023年4月には全作品を収録した作品集『天と地 熊野をめぐる書巡礼』（富山房インターナショナル）を出版するとともに、三重県伊勢市の国指定重要文化財「竈日館」にて展覧会を開催しました。

そして、2024年10月5日から20日、ユネスコ世界遺産登録20周年記念展覧会として、「書家 柏木白光 作品展 『天と地』 熊野古道をめぐる書巡礼」が「世界遺産熊野本宮館」（和歌山県田辺市本宮町）で開催されます。『天と地』シリーズが完成した後、熊野で作品が展示されるのはこれが初となります。



熊野本宮大社



熊野本宮大社 大斎原



熊野那智大社 那智大瀧



熊野速玉大社



那智山青岸渡寺

【展覧会『天と地』によせて】

道遠く、山厳しい難路の彼方にあった熊野。中世の昔より巡礼者たちは、この世界を歩くことによって浄化され、救われると信じてきました。永遠への憧れ、大自然との調和、平和への祈り、そして生活の安寧への願い。熊野は、人々の心を大自然の曼荼羅のなかに映し出し、宇宙の真理を示してくれているように感じられます。

十数年の歳月をかけて熊野とそこへ通じる路をたどり、その神秘に満ちた精神世界を、書の表現と伝統的な工芸技法を生かした「墨アート」かたちにしてきました。この『天と地』の作品群を通じて、日本文化に込められた精神性や美しさ、素晴らしさを世界に発信し、後世に伝えられればと願っています。

柏木白光



【柏木白光プロフィール】

大分県中津市生まれ。書家であった初代・辛島寅次郎、2代・宇都宮廣の跡を継ぎ、5歳から書の道へ。毎日女流展（1988年グランプリ受賞）など多くの書道展に入賞。以後、毎日女流展審査員など歴任。1993年から1996年にかけて、サンスクリット文字（梵字）、モンゴル文字、エジプト文字、ヘブライ文字を、それぞれの文字が発祥した国に滞在しながら学んだ。

伊勢神宮、明治神宮、靖国神社などに作品が奉納されたほか、2011年、沖縄県護国神社の美智子皇后（現上皇后）陛下御歌の記念碑に揮毫。また、東日本大震災復興のプロジェクトも積極的に行い、2012年にはニュージーランド・クライストチャーチの震災と東日本大震災の復興の橋渡しも行った。音楽家とのジョイントで書を揮毫する海外公演も多く、ロシア、ハワイ、ロスアンゼルス、イスラエル、モンゴル、ネパールなど世界各地で公演し、フランスのオペラ座にも出演した。

2009年、熊野古道をテーマにした作品制作を開始。十数年の歳月をかけて2022年に完成し、作品集『天と地 熊野をめぐる書巡礼』（富山房インターナショナル）を出版。国指定重要文化財「賓日館」（三重県伊勢市、2023年4月）、「世界遺産 熊野本宮館」（和歌山県田辺市、2024年10月）で展覧会を開催。

現在、大分、東京、伊勢、京都で書道教室を開催し、美しい生きた文字を伝える活動を行うとともに、精力的に墨アートの作品を制作しながら、書による表現の可能性を拓き続けている。

【世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」】

「紀伊山地」は紀伊半島の大部分を占める山岳地帯で、標高1,000～2,000m級の山脈が走る日本有数の多雨地帯で、豊かな雨水が深い森林を育んでいます。

紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な地域と考えられており、仏教も深い森林に覆われたこれらの山々を阿弥陀仏や観音菩薩の「浄土」に見立て、超自然的な能力を習得するための修行の場としました。その結果、紀伊山地には三つの霊場「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」が生まれました。

三霊場は、古代以来、自然崇拝に根ざした神道、中国から伝来し我が国で独自の展開を見せた仏教、その両者が結びついた修験道など、多様な信仰の形態を育んだ神仏の霊場であり、そこに至る「熊野参詣道」「高野山参詣道」「大峯奥駈道」などの参詣道は都をはじめ各地から多くの人々の訪れる所となり、日本の宗教・文化の発展と交流に大きな影響を及ぼしました。

『紀伊山地の霊場と参詣道』は、三重、奈良、和歌山の三県にまたがる「紀伊山地の自然」がなければ成立しなかった「霊場」と「参詣道」及びそれらを取り巻く「文化的景観」が主役であり、日本で唯一、世界でも類を見ない資産として高い価値を持っています。

田辺市熊野ツーリズムビューロー（<https://www.tb-kumano.jp/kumano-kodo/>）より引用